

最近の Bangladesh 情勢と日 Bangladesh 関係

Bangladesh 概要 1

Bangladesh 政治・経済情勢・外交 2

日 Bangladesh 関係 3

2021年9月
外務省南西アジア課

バングラデシュ政治・経済情勢

バングラデシュ政治情勢



ハシナ首相
(アワミ連盟総裁)



ジア元首相
(BNP総裁)

【一院制】定員350
(うち女性枠50)。
女性枠は小選挙区
での獲得議席に応じ
比例配分。

政党名	現議席数	女性枠
アワミ連盟	258	43
国民党エルシヤド派	22	4
BNP	6	1
ゴノ・フォーラム	2	0
その他	12	2
合計	300	50

<バングラデシュ政治略史>

1975年 ムジブル・ラーマン初代大統領暗殺
1981年 ジアウル・ラーマン大統領暗殺
1990年 エルシヤド軍事政権退陣、民主化移行
1991年 総選挙、ジア政権(BNP)発足
1996年 総選挙、ハシナ政権(アワミ連盟)発足
2001年 総選挙、ジア政権(BNP連立)政権発足
2006年 アーメド選挙管理内閣(暫定政権)発足
2008年 総選挙、ハシナ政権(アワミ連盟)発足(09年1月～)
2014年 与党単独による総選挙でアワミ連盟圧勝(1月5日)
2018年 総選挙、ハシナ政権4期目発足(19年1月～)

- 1971年独立後、数回のクーデター(2度の大統領暗殺含む)と軍政を経て、1990年に議院内閣制に移行。
- 二大政党の対立:アワミ連盟(総裁:ハシナ首相。ムジブル・ラーマン初代大統領の娘)
:バングラデシュ民族主義党(BNP)(総裁:ジア元首相。ジアウル・ラーマン元大統領夫人)
- 2009年に誕生したハシナ政権は、好調な経済成長を実現し、開発分野での成果や国会での実質一党支配を通じ、権力基盤を着実に強化。2018年12月に野党参加の下、総選挙が実施され、アワミ連盟が勝利、2019年1月にハシナ政権4期目発足。2021年3月にムジブル・ラーマン初代大統領生誕100周年、独立50周年を盛大に祝賀。
- 2015年以降、世俗的な作家・ブロガー、イスラム教シーア派やヒンドゥー教宗教関連施設等を狙った襲撃事件が頻発、外国人を標的とした襲撃も発生する中、2016年7月、日本人7名を含む多数の外国人犠牲者を出すダッカ襲撃テロ事件が発生した。ハシナ首相はテロを一切容認しない「ゼロ・トレランス」を掲げ、過激派摘発に全力で取り組んでいる。
- 1990年代以降、バングラデシュと国境を接するミャンマー・ラカイン州から避難民が流入。2017年8月以降、新たに70万人以上の避難民が流入し、4年経過した現在も、ホストコミュニティの負担が高まる中、人道的観点から受け入れを継続している。

バングラデシュ経済

- 保健・教育等の開発目標で目覚ましい成果を挙げたMDGs実現のチャンピオン。2015年に「低中所得国」に移行(世銀による分類(一人あたりGNI1,316ドル)。国連による分類は後発開発途上国)。BRICSに続く新興経済圏(ネクスト11)の一つ。2018年にLDC卒業資格要件を満たし、2021年2月国連開発政策委員会が2026年LDC卒業を推薦。
- ハシナ政権は、2021年(独立50周年)までの中所得国入り(ビジョン2021)、2041年までの先進国入り(ビジョン2041)を目標に掲げ、インフラ強化、産業多様化、投資促進、ガバナンス強化、貧困撲滅、保健・教育、防災等の課題に取り組んでいる。
- 輸出は過去10年で4倍に拡大し、大半が米・欧向けの衣料品。輸入は中印からの石油製品、綿・綿製品や機械等。大幅な貿易赤字を海外移住者・労働者からの送金(remittance)で補填(2019年:約164億ドル)。投資は製造業、運輸・通信(英、米、エジプト、韓国等)。新型コロナウイルス感染の影響による衣料品の輸出の落ち込み、海外出稼ぎ労働者の減少等により高成長路線が一時的に失速する見込み。

バングラデシュ外交

- 全方位外交で、インド・中国等近隣諸国と緊密な関係を維持。湾岸諸国ともイスラム教、海外労働者で密接な関係。
- 南アジア地域協力連合(SAARC)の提唱国・推進国。
- 国連平和維持活動(PKO)の主要要員派遣国(約7千人)。国際場裡では非同盟諸国(NAM)等途上国グループで活躍。

日 Bangladesh 関係

概要・要人交流

- 1972年の国交樹立以来一貫して、我が国と友好関係を有する親日国。2014年、「包括的パートナーシップ」を立ち上げ。2022年に外交関係樹立50周年を迎える。

※最近の要人往来:

【日本→Bangladesh】2019年7月/2018年8月/2017年11月河野外相、2019年2月阿部外務副大臣、2019年1月茂木経済再生担当大臣、2018年3月堀井巖外務政務官、2018年1月藺浦総理補佐官、2017年9月堀井巖外務政務官、2014年9月安倍総理、2014年3月岸田外相 他
 【Bangladesh→日本】2019年10月ハミド大統領、2019年5月/2016年/2014年ハシナ首相、2018年7月アーメド商業大臣、2018年5月アリ外務大臣、2017年5月/2016年12月ムヒト財務大臣、2014年8月チョードリー国会議長など、閣僚等ハイレベルの訪日が継続、2020年8月首脳電話会談実施

投資・貿易関係

- 投資
 - ・近年「中国プラス1」の生産拠点として注目され、日本企業の進出が増加（321社（2021年）、2011年から3倍以上増加）。
 - ・主要業種は繊維関連、商社、物流、製造業等。投資総額（97-19年度）は 896.58億米ドル（Bangladesh中央銀行）。
 - ・Bangladeshにおける電力・天然ガスの供給、工業用地の不足、許認可手続きの煩雑さ、高関税等が投資拡大の課題となっている。

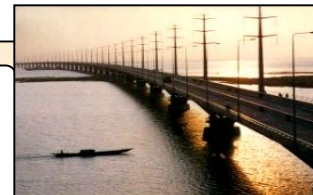
● 貿易（2020年（Bangladesh銀行、輸出振興庁））

- ・対日輸入： 1,200百万ドル（鉄鋼、車両、一般機械等）
- ・対日輸出： 1,720百万ドル（既製服、ニット製品、ジュート（麻）等、2009年から約6倍増加）
 （対日衣料品輸出は2012年から2倍以上増加）

（* 2015年4月からニット製衣類の原産地規則が緩和）

経済協力

- 日本はBangladeshにとり最大の二国間援助供与国。
- 「中所得国化に向けた、貧困からの脱却と持続可能かつ公平な経済成長の加速化」の取組への支援を基本方針とし、マタバリ超々臨界圧火力発電所、マタバリ港、ダッカMRT（メトロレール）、日本企業間経済特区を念頭においた投資促進事業等、「ベンガル湾産業成長地帯（BIG-B）構想」の実現に向けた協力を推進。
- 2017年以降、ミャンマー・ラカイン州からの避難民及びホストコミュニティに対する支援を実施。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、円借款、無償資金協力、国際機関を通じた協力、ワクチン供与を実施。



上：日本が支援したジャムナ橋（全長4.8km）
 下：ジャムナ橋をデザインした旧100タカ紙幣



我が国造幣局はBangladesh政府から
 同国通貨の製造を受託

- 2012年 2タカ（約2円）硬貨 5億枚
 （外国の一般流通貨幣製造受注は戦後初）
- 2013年 国立博物館開館100周年
 記念銀貨幣 4千枚



	円借款	無償資金協力	技術協力
17年度	1,782.23	45.23	46.11
18年度	2,003.71	54.21	41.89
19年度	2,757.86	34.74	32.58
累計	20,226.00	4974.66	931.77

単位：億円 出典：外務省国際協力局

国際場裡での協力

- 多くの国際機関選挙・決議等で我が国を支持（日本の国連安保理常任理事国入りも支持）。核軍縮分野でも支持。